



日本共産党狛江市議員  
宮坂 良子

### 新型コロナウイルスから高齢者の命を守るために

**問** ①介護施設から安全に万難を排しているがドキドキハラハラで疲弊の声、市の支援は

**答** ①介護施設ではワラスターが心配、職員のPCR検査の実施を  
②介護施設ではワラスターが心配、職員のPCR検査の実施を  
③事業所は3〜4割も減収、崩壊させないために支援を  
④保健所や相談窓口などを案内する

### コロナ禍での子育て支援の拡充を

**問** ①コロナ禍で収入が急変した場合は②就学援助の基準は生保の1.1倍、26市の状況は③狛江の利用率は低い。すべての子どもたちがお金の心配なく教育を受けることができるよう基準1.2倍に拡大を。

**答** ①既存制度の枠組みの中で適切な援助を行っている②所得の1.0倍から1.5倍が13市、収入の1.4倍から1.7倍が13市③子育て支援の制度全体の中で検討すべきものと考えている。



日本共産党狛江市議員  
鈴木 えつお

### 充実した中央図書館・公民館を市民と協働で

**問** ①市の示した市民センター改修方針では、共用部分を除くと床面積があまり広がらない。充実した中央図書館・公民館へ、改修方針を再度見直すことも含めて、よく市民と話し合っていくということではないか。

**答** 基本方針は、市民の会の皆様からの御提案をいただき、行政としても検討させていただいたものである。基本方針に従い、御意見を伺いながら進めていく。

### 浸水防止へ排水樋管に強力な排水ポンプ設置を

**問** ①六郷・猪方両樋管の現在のポンプでは、浸水をなくすため排水しなればならぬ雨水の2%弱しか排水できない。浸水被害軽減のため両樋管に強力な排水ポンプの設置を検討していただきたいがどうか。

**答** ①市内に降った雨を排水ポンプが有効であると考えられているが、デメリットもあるため、浸水対策において何が有効であるかを強力なポンプの設置を含めて検討していく必要がある。



狛江市議会公明党  
石川 和広

### 狛江市民センター改修等基本方針について

**問** ①狛江市民センターに関する市民アンケート結果に対する市の分析は②基本方針決定のプロセスは③市民センター改修基本構想策定のプロセスは④こまえ電子図書館の開設の経緯とこれまでの利用状況は。

**答** ①利用頻度は低く財政負担抑制の意見も多いが、充実を求める声も多い②財政状況を考慮した上で、少しでも充実が図れるよう検討③ワークショップなどで意見を伺いながら取りまとめる④市長から調査・研究の指示があり導入。1日当たり約1〜7回の閲覧、好評を頂いている。

### 一時(臨時)多量ごみの収集と処分に関して

**問** ①不用品回収業者への処理依頼についての問題点は②市の許可業者による整理・分別・収集を可能とする制度の構築を③イベント回収の形態を変えた使用済小型家電実験回収を。

**答** ①収集運搬に必要な許可を持っていない。適切な処理がなされない懸念がある②制度化に向けての検討を進める③対面回収でない方法の検討を進める。



狛江市議会公明党  
山田 幸子

### 自然災害から市民を守るために

**問** ①野川緑地公園が浸水想定区域。危険箇所の点検や工事の予定②市内の防災公園の役割と機能③訓練が必要。見解は④災害時のトイレ問題は深刻。マニュアル作成を⑤使い捨て哺乳瓶の備蓄の検討状況は。

**答** ①9月に陥没箇所の工事を完了②近隣や徒歩帰宅者への一時的な避難、休憩場所として、トイレや水の提供等③実施に向け検討する④基本マニュアルに入れるよう検討する⑤使い捨ても含め検討している。

### 安心して暮らせる狛江

**問** ①認知症への支援体制の取り組みについて②認知症初期集中支援チームがサポートする対象者と支援内容は③位置情報提供サービスのメリット・デメリットの確認。※他に見守りシステムの充実を要望。

**答** ①講演会等普及啓発事業、支援活動等の他介護者等への支援と高齢者への安全対策を実施②他者との関わりを拒否するケースなどで医師が訪問③居場所を特定できること、機器を携帯しないと追跡できない。



日本共産党狛江市議員  
西村 あつ子

### 教育環境について

**問** ①長期休校について②児童生徒の影響③自宅学習の課題④学びの遅れと格差⑤ひとり親家庭の学習支援は高校生も対象に③行事中止への代替措置を④少人数学級への考え。

**答** ①家庭連絡や分散登校で状況把握②自律的に学習を進めること③格差が生じないよう補充的な学習を展開④来年度以降の取り組みの中で検討する⑤代替案を検討④教員が指導を行う際、よりきめ細かな対応が可能。

### 市民生活支援について

**問** ①コロナの影響を受けた方へ支援を②大学生等③ひとり親家庭へ継続支援の制度の対象外④事業者⑤市長の考え⑥差別のないまちづくりを。市長の見解は。

**答** ①現段階で市独自の給付を行う考えはない②家賃補助も含め現金給付等を行う予定はない③業種や要件を精査し支援を検討している④都の動向を注視し必要な支援を検討する⑤人権を尊重し、みんなが生きやすいまちづくりを進める。



狛江市議会公明党  
佐々木 貴史

### 安全・安心なまちづくりについて

**問** 新型コロナウイルス感染症対策について、専門家の講演を聞き「安心」が大事というご意見。市民の不安を少しでも払拭できるように、自分がコロナかなという症状が出たときに、どこに連絡・相談すれば良いかが分かるように掲示板等に「ここに連絡を」というチラシの貼りだしを要望。

**答** 新型コロナウイルス感染症が疑われる場合、かかりつけ医に連絡することが一番重要。休診日やかかりつけ医がない場合に備え、新型コロナウイルスセンターや多摩府中保健所の連絡先を記載して狛江市掲示板などにもチラシを掲出していく。



狛江市議会公明党  
小野寺 克己

### 行政手続きのオンライン化に向けて

**問** ①市民からの申請書類での押印不要への見直しについての課題を伺う②電子承認可能なワークフローシステム導入についての将来的な展望を伺う③オンライン化可能な申請の想定について伺う。

**答** ①本人確認の観点から求める場合がある②セキュリティ対策等の課題を整理する必要がある③法令等で義務付けられているもの等を除き、技術的には可能。

### 市民の命を守る災害対策本部の運営と避難所運営

**問** ①災害対応では全職員で情報共有ツールを活用していくことについて伺う②避難所生活で段ボールベッドの間仕切りなど感染症対策について伺う。

**答** ①庁内ネットワークなど複数手段により情報共有を図る。LINE WORKSでの通信訓練を実施した②間仕切りは専用スペースに留意。段ボールベッドは避難生活の長期化が想定される場合に協定先から調達する。



立憲民主こまえ  
高木 さとこ

### 小・中学校のICT学習方針と、学校行事に関して

**問** 一人1台のタブレットを生徒が文房具のように使うことで、主体的学びのツールとして活用できるが、ICT教育の目的は何が。「生きる力」を育むこと。主体的、協働的、探究的な学びや、個々の能力や特性に応じた学びを実現。教育の質の向上を期待。台風・豪雨災害に備え脱炭素政策を優先できるか

**答** ①2050年までのCO2削減目標は②電力調達を脱炭素の政策に位置付け本庁舎の電源を再エネに切替える提案へ見解は。①2013(平成25)年度比で温室効果ガスを80%削減②市の財政状況と再エネ電力の価格動向等を注視し、前向きに検討する。



人権尊重条例の逐条解説の実効性を確認する

**問** ①必要な措置を講じることに対し、意識調査ではなく実態調査を行い実効性を担保できないか②推進会議の委員構成を伺う。

**答** ①人権尊重推進会議での議論等を行う中で、必要性が高まれば実施を検討②学識経験者と有識者、市民委員の計8名。

